

森から見た日本

「山の日」を前に森との付き合い方を考える



<講演者・パネラー>

鈴木 和雄 氏

(株式会社東海木材相互市場・代表取締役社長)



畠山 重篤 氏

(NPO法人「森は海の恋人」理事長

／京都大学フィールド科学教育研究センター・社会連携教授)

参加無料

2016年 **7** 月 **6** 日(水)

13:30~16:10

名古屋学院大学 白鳥学舎

翼館4階 **クラインホール**

<コーディネイター・司会>

今村 薫 氏

名古屋学院大学現代社会学部教授

<プログラム>

13:30~13:35 学部長あいさつ

13:35~13:50 趣旨説明「現代社会における日本の森の役割」

13:50~14:30 【講演】鈴木 和雄 氏

演題 **「コンクリート社会から緑の社会へー戦後の政策と日本の山」**

14:30~15:30 【講演】畠山 重篤 氏

演題 **「森は海の恋人 人の心に木を植える」**

15:30~15:40 休憩

15:40~16:10 パネル・ディスカッション

「森の多様な側面と地域再生」

【パネラー】鈴木 和雄 氏 畠山 重篤 氏

【司会】今村 薫 氏

<趣旨>

日本は世界有数の森林国です。

近年の日本の森林は、木材を生産するだけでなく、自然保護運動や森林ボランティアなどの市民を巻き込んだ活動の場となってきました。

さらに最近は森林浴や人間が自然と交流する場(ハビネス創造の場)として注目され、森の樹木が水系を通じて海を豊かにすることも明らかになってきました。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨に今年の8月11日から「山の日」が施行されます。

これを機会に地域から日本を再生させるための森林との付き合い方を考えます。